

平成29年度市長との小学校区意見交換会（岩倉北小学校区）議事録

平成29年10月29日(日)

午後1時30分～午後3時

市立体育館

出席者 一般市民 32名

市長、副市長、総務部長、市民部長、健康福祉部長、建設部長、消防長、教育子ども未来部長、環境保全課長、健康課長、学校教育課長、子育て支援課長、清掃事務所長、長寿介護課介護保険グループ長、事務局（協働推進課）

テーマ「子育て環境の充実」、「健幸長寿社会の実現」、「その他」

1 あいさつ

2 市からの情報提供（教育子ども未来部長・健康福祉部長）

3 意見交換

【意見等】 岩倉市の年齢構成を見ると、子どもが少なくなって高齢者が増えており、説明を聞いていると長生きしては良くないのではないか？というような感想を持った。0～14歳の人口が減っている理由を調査、分析する必要があるのではないかと。

【市長】 高齢化がいけないわけではない。元気で長生きしてほしいと思う。子どもが減っている理由については、ひとつは若者の結婚に対する考え方が変わってきたこと。結婚する必要がないという人もいる。まずは結婚する若者が増えるような支援が必要。また、子育てや経済的な不安もある中、核家族化が進み、身近な相談相手が少なくなったという問題もある。国が経済的支援を進めつつ、市は寄り添う相談支援体制を進めていかなければならない。日本は諸外国に比べ、ものすごい速さで高齢化が進んできた。今後も子どもが減ってきた理由はしっかりと検証して対応していきたい。

【意見等】 放課後児童クラブについて、南小学校や東小学校では小学校6年生まで受け入れているが、市内全校で実施する計画はあるのか。

【市長】 五条川小学校では現在放課後児童クラブ施設を建設中である。

他の小学校については、環境が整い次第実施したいと考えている。

【意見等】 岩倉市に待機児童はいるのか。

【教育こども未来部長】 平成29年4月は2人待機であった。

【意見等】 市役所近くの日本郵政が持つ建物を借りて、保育園に入れなかった子を元気なおじいさんやおばあさんが面倒見るとするのはどうか。シルバー世代の活躍につながり、健康にも役立つ。また、駅から近く、親御さんも助かるのでは。

【市長】 他の自治体ではそうした取組をしているところもある。ただ、待機児童ができてしまうのは、施設の不足ではなく、保育士の不足で起こってしまう。郵政の建物は駅から近いというメリットはあるが、可能であればまずは身近な保育園でできればと思う。

【意見等】 放課後児童クラブを利用していない人でも急遽必要になった場合に一時的に預けられることはできないか。

【副市長】 保育園では保育園に入らず、一時的に子どもを預けられる一時保育を実施している。核家族化が進み、保育園に引き続いて小学校も保育園と同じ対応をする必要が出てきている。今すぐに実施するのは難しいが、今後の実施に向けて検討させていただく。

【意見等】 特定健診を毎年受けている。毎年結果が送られてくるのだが、今年の結果には昨年まで書いてあった前年度結果の記載がなかった。前年の結果を参考に病院に行くので、とても不便に感じた。なぜ記載しなくなったのか。

【副市長】 この場で回答することができないため、後日回答させていただく。

【意見等】 待機児童の話が出たが、老人ホームに入れない待機老人はどのくらいいるのか。また、そういう施設は市営があるか。あるとすればどのくらいあるのか。

【健康福祉部長】 在宅ではなく、介護度が高くなった場合に、介護保険で受けるサービスとしては、主には特別養護老人ホームと介護老人保健施設という施設の入所がある。岩倉市の場合はいずれも市で運営しているものではなく、特別養護老人ホームは社会福祉法人一期一会福祉会が運営し、介護老人保健施設は医療法人ようてい会が運営している。特別養護老人ホームには介護度3・4・5の人で40数名の待機者がある状況と記憶している。

【意見等】 さくらの家のような多世代が交流する施設を増やしたほうがいいのでは。公共施設の再配置計画も進められているので、高齢者が子どもたちに関われる制度を強化してほしい。

- 【市長】 実現するにはさまざまな工夫が必要になると思うので、時間をかけて検討していく。
- 【意見等】 市民活動に参加する男性が少ない。今日の参加者は男性が多くて驚いた。男性が参加しやすい環境を。また、南部老人憩の家などで活動するのもいいが、そこだけにこもってしまいがちになるので、もっと多くの人と関わりを持てるようなシステムづくりをしていかなければならない。
- 【市長】 市でも65歳のつどいを実施し、お勤めから退かれた人に市民活動を紹介しているが、そういう環境が急にきてもなかなか難しい。自分も小牧市に勤めていた頃は地域の活動をやる余裕がなかった。岩倉市の副市長になってからは環境が変わり、地域に対する考え方も変わった。地域の中で40代、50代の人と一緒に取り組めるような活動をし、早い段階で地域での居場所づくりをする工夫が必要になると考えている。
- 【意見等】 デマンドタクシーの運用について、午後の利用者が少ない。いかに利用者を増やしていくかが課題だと思う。総務部、市民部、健康福祉部で連携して対応していくべき。
- 【市長】 デマンドタクシーに対してはいろいろなご意見を伺っており、今後抜本的な見直しが必要と考えている。
- 【意見等】 公園の整備のことで、若い母親が子どもと一緒に遊ぶ場所がない。近くにござんじ公園があるが、ボード遊びが主のため遊びにくい。また、石仏公園の整備について現在の進捗状況を教えてほしい。
- 【市長】 公園については岩倉市にとって大きな課題。数字的に見ても他のまちと比べて市民一人当たりの公園面積が小さい。公園の整備についてはできることから進めていきたい。
- 【建設部長】 ござんじ公園について、整備する際に遊具が必要ではないかという意見も出たが、市内に1箇所はボード用にきれいに地面が整備されたところがあってもいいのではということで、現在のかたちとなった。石仏公園の進捗状況については、国からまとまったお金が補助されればいいが、なかなかそういうわけにもいかないので、毎年少しずつ進めていくことになる。最短でもあと5年にかかると思うので、時間をいただきたい。

午後3時00分終了